

平成25年度 決算委員会 総括質疑 (榎本はじめ議員)

全庁挙げて、将来を見据えたまちづくり!

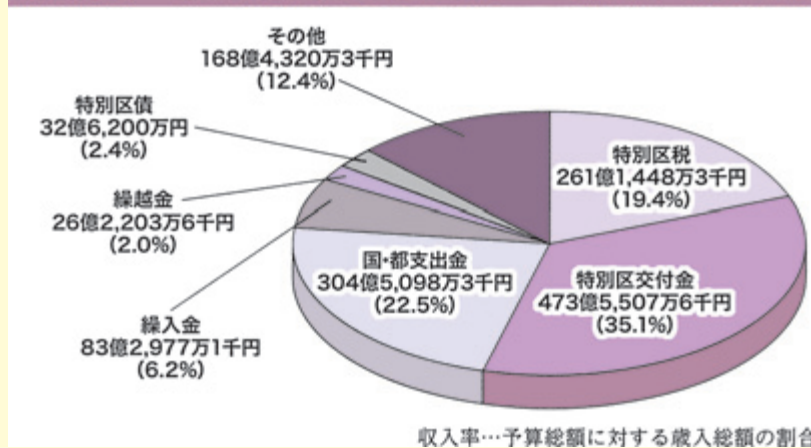
平成25年度の決算総括は、最初に財政状況について質疑しました。特に経常収支比率は高止まり、23区中、下位の状況にあるが、各区の行政需要は様々であり、比較のみにとらわれる必要はないと指摘し、特に3つの優先課題とした「地震・水害に強い安全・安心のまちづくり」「長生きするなら北区が1番」「子育てするなら北区が1番」を確立するため、施策に全力を尽し今後財政運営を見誤らないように求めました。

次に、東京オリンピックを6年後に控え、わが区は「味の素 NTC」や東京都障害者総合スポーツセンターとい

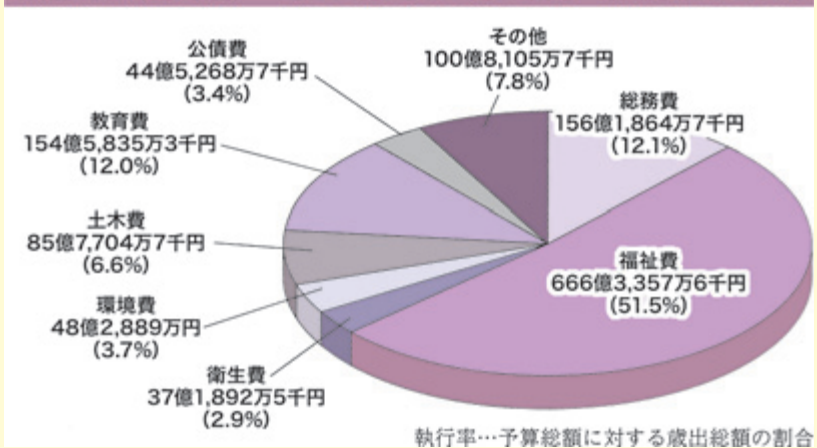
う2つのトレーニング施設をかかえています。日本代表選手を支え「おもてなし」に繋がるまちづくりや都市観光およびスポーツ振興に全庁挙げて取り組むことを求めました。その他、執行率が低い事業及び施策を精査し、その要因なども議論しました。また区税等の徴収については、公平性の認識や費用対効果の高さを評価、滞納者への丁寧な対応と納付義務の十分な説明等を質疑し、平成25年度決算を総括。

わが会派の討論にある通り、各款各項の詳細を決算特別委員会において、精力的に議論しました。

歳入総額 1,349億7,755万2千円 [収入率100.0%]



歳出総額(目的別) 1,293億6,918万2千円 [執行率95.9%]



平成25年度 歳入歳出決算ほか、四特別会計 賛成討論

自由民主党議員団の平成25年度、北区一般会計歳入歳出決算、北区国民健康保険事業会計歳入歳出決算、北区中小企業従業員退職金等共済事業会計歳入歳出決算、北区介護保険会計歳入歳出及び北区後期高齢者医療会計歳入歳出決算につきまして賛成の立場から討論いたします。

平成25年度は欧米財政の悪化などによる世界経済のさらなる下振れや、雇用・所得環境の先行き、デフレの影響などにより経済環境は予断を許さない状況となり、人口の減少と少子高齢化の一層の進展、そして税収の低迷など、北区を取り巻く財源環境は極めて不透明な状況が続いていました。

平成25年度予算編成時に日本経済の先行きについては、東日本大震災からの復興需要が引き続き下支えするなかで、再び景気回復へ向かうことが期待されるものの、北区を取り巻く環境は依然と厳しい状況にあるなか「区民とともに」の基本姿勢のもと喫緊の課題に着実に取り組むため、「北区経営改革『新5カ年プラン』」に基づいて、誰もがゆとりと豊かさを実感できる区政運営に努めたことなど、それぞれの事務事業は予算編成方針に沿い、計画的かつ効率的に遂行されたものと認められる決算内容であり、区政の着実な前進として評価することができる。

3つの優先課題に全力で取り組み、健全財政の維持についても特別区債の償還等に備え、減債基金へ積立て、年度間の景気変動等に対応し、安定的な財政運営を図り、各種基金を確実に積み上げ、着実な成果を収めたことと評価い

たします。

特に我が会派より予算編成の段階において留意するよう求めた以下5点、少子高齢化対策・雇用就労対策・区内景気の浮揚に向けての中小企業対策・安定した財源確保のための外部化等、経営改革プランの着実な進展・施設再配置計画の策定と実施、既存事業の見直しなどに着手し、実現したところは高く評価します。

しかし、「地域のきずなづくり」や「ファミリー層の定住化」、3つの優先課題に加えて、本格化するまちづくりへの取り組みや東京オリンピック・パラリンピックを見据えた新たな施策への取り組みなど、これまで以上に適切な対応が求められ、財政構造の弾力性を保ち、変化に強い行財政システムの構築のために、さらなる努力が必要であることを指摘しておきます。

今回、決算特別委員会で我が会派が申しあげました各項目は、北区の将来像「ともにづくり未来につなぐ ときめきのまち——人と水とみどりの美しいふるさと北区」の実現のためには必要な視点であり「選ばれる北区」をめざして、引き続き努力を期待します。そして、自主的な財源確保に向けて積極的に邁進し、引き続き経営改革に取り組み、より効率的・効果的に全庁を挙げて取り組むことを強く求め、平成25年度東京都北区一般会計歳入歳出決算ほか、四特別会計歳入歳出決算に賛成いたします。

本会議賛成討論 小野田紀美議員
決算特別委員会賛成討論 大沢たかし議員